

報道資料

2008年11月20日(木)

## 太陽光発電搭載の電気自動車対応住宅を期間限定で販売開始

～日本人の思想・知恵と最新技術を取り入れた「家+庭生活 CH08」～

株式会社トステム住宅研究所  
アイフルホームカンパニー

トステムやINAXなどの事業会社を擁する株式会社住生活グループ傘下で、住宅FCを全国に展開している株式会社トステム住宅研究所（アイフルホーム）[住所：東京都江東区亀戸1-5-7 / 代表取締役社長 兼 アイフルホームカンパニープレジデント：大竹俊夫]は、太陽光発電を搭載した電気自動車 対応住宅「家+庭生活（かていせいいかつ）CH08」を、11月22日（土）より、アイフルホームFC加盟店（当初26店舗）にて期間限定で販売を開始致します。

（電気自動車は、走行する際にCO<sub>2</sub>などの排気ガスを出さないクリーンな乗り物として、地球温暖化防止の観点から注目されており、来年から市場投入される予定です。）



「家+庭生活 CH08」外観写真

トステム住宅研究所では、私たちの生活に深く関わる問題（少子高齢化・教育・資源エネルギー・地球温暖化・廃棄物・生物多様性・地域経済の問題や、生活者が豊かさを享受できない問題）を改善・解決するために家ができることを考え、日々家づくりに取り組んでおります。

特に資源エネルギーや地球温暖化などの問題が深刻化する中、“家での生活”だけでなく“自動車”から排出されるCO<sub>2</sub>も含め、家庭の暮らし全体でCO<sub>2</sub>をゼロにする「CO<sub>2</sub>ゼロライフ」の実現を目指して、日本人の思想・知恵と最新技術を取り入れた電気自動車対応のモデル住宅を東京都内（葛飾区高砂）に建築。そして、この7月に「クールアースモデル住宅」として発表したところ、マスコミや自治体、研究機関などから多大な関心と評価を頂き、一般ユーザーからも販売の要請を頂きました。そこで、日本人の思想・知恵と最新技術を取り入れた電気自動車対応住宅「家+庭生活 CH08」として期間限定で販売することを決定致しました。

また、電気自動車対応のモデル住宅は、東京工業大学、三菱商事などとの共同研究開発プロジェクト「RE-EVプロジェクト」(Renewable Energy for Electric Vehicle Project = 再生可能エネルギーを利用した電気自動車向けインフラシステムの研究プロジェクト)において、電気自動車のユーザー宅を想定した実験住宅としての役割も担っています。

日本人の思想・知恵と最新技術を取り入れた電気自動車対応住宅「家+庭生活 CH08」は、資源エネルギーや地球温暖化の問題に対して、かつての日本家屋が持っていた採光や通風を活かした坪庭などの省エネルギー技術とCO<sub>2</sub>の排出を大幅に削減する太陽光発電システムや、今後本格的に普及していく「家と電気自動車」を融合させた最先端の新エネルギー技術を組み合わせた「省エネルギー+新エネルギー」住宅です。

日本人の昔からの思想・知恵として、町屋の暮らしの環境装置に学んだ「地熱を活かした土間」「冷却効果の坪庭」、庭を機能的に配置した農家に学んだ「季節の野菜やハーブを育てて楽しむ家庭菜園」「緑化で冷却効果のあるルーフガーデン」「坪庭の露天風呂」、おもてなしを大切にする茶室のあり方に学んだ「にじり口や坪庭のあるタタミ室」、職住一致の商家の暮らしに学んだ「(自宅での)ショップ」などの優れた環境性やコミュニケーション性を取り入れました。

新エネルギー技術では、CO<sub>2</sub>フリーの太陽光発電(6.48kw システム)を搭載し、ガレージ内に設置した200Vのコンセントで電気自動車への充電(蓄電容量 16kwh の三菱自動車製「i-MiEV」の場合、約7時間でフル充電)が可能です。なお、コンセントには充電タイマーが組み込んであり、タイマーを夜間に設定することで、CO<sub>2</sub>排出が少なく、且つ電気代の安い深夜電力の充電が可能になります。

更に、省エネルギー技術では、開ける技術として「光の有効活用」「通風利用」、閉じる技術として「遮熱LOW-Eガラス」、貯める技術として「蓄熱壁」「雨水の有効活用」、また、低電力消費・長寿命の「LED照明」や高効率給湯器「エコキュート」などの省エネルギー機器を採用するなど、日本人が古くから慣れ親しんできた文化や知恵と最新のテクノロジーを活用することで、エネルギー使用を極力少なくします。

将来的には、CO<sub>2</sub>フリーの太陽光発電から電気自動車に充電した電気を、住宅に戻して活用できる研究にも取り組んで参ります。

これらの取り組みによって、「家」だけでなく「自動車」も含めた生活全般のCO<sub>2</sub>排出を限りなくゼロにする「CO<sub>2</sub>ゼロライフ」の実現が近づくだけでなく、生活全般におけるエネルギーにかかるコスト(光熱費+自動車の燃料費)も激減する、ランニングコストのローコスト革命が実現します。

トステム住宅研究所(アイフルホーム)は、今回限定販売する電気自動車対応住宅「家+庭生活 CH08」などで、CO<sub>2</sub>排出削減のあるべきソリューションを示すとともに、住生活ランニングコストのローコスト革命でこの分野をリードしていきたいと考えています。

さらに、「CO<sub>2</sub>ゼロライフ」や「ランニングコストのローコスト革命」は、生活の質をおとさずにむしろ豊かで高い質の生活をしながら実現していくべきであると考えております。

## 商品概要

【商品名】 「家+庭生活（かていせいかつ） C H 0 8 」

【特長】 新エネルギー技術の活用  
・「太陽光発電システム」の搭載（6.48kw システム）  
・「電気自動車」への対応（ガレージ内に充電用200Vコンセントの設置）  
省エネルギー技術・機器の活用  
・開ける技術の活用（「光の有効活用」「通風利用」など）  
・閉じる技術の活用（「遮熱LOW-Eガラス」など）  
・貯める技術の活用（「蓄熱壁」「雨水の有効活用」など）  
・最新機器等の活用（「LED照明」「エコキュート」など）  
+  
日本人の思想・知恵の活用  
（「土間」「坪庭」「家庭菜園」「ルーフガーデン」「タタミ室」など）

【販売期間】 2008年11月22日（土）～2009年3月31日（火）

【販売店舗】 下記アイフルホームFC加盟店（当初26店舗）  
東北エリア（天童店・山形南店・鶴岡店）  
関東エリア（神栖店・浦和店・船橋店・佐倉店・木更津店・東久留米店  
小田原西店・横浜西店）  
信越エリア（長岡店・上田店・須坂店）  
中部エリア（掛川店・焼津店・小牧店・一宮西店・豊田店）  
北陸エリア（高岡店）  
近畿エリア（洲本店）  
中国エリア（広島安芸店・周南店・岩国店）  
四国エリア（徳島北店・西条店）

【プラン数】 2プラン（北側玄関/南側玄関）

【価格】 建物本体価格4,340万円（税込）  
（延床面積209㎡/63坪/標準地域仕様の場合）

【販売目標】 目標契約棟数30棟

この件に関するマスコミの方からのお問い合わせは下記までお願いします。

（株）システム住宅研究所

マーケティング部 広報担当 山口まで

電話：03-5626-8251